

8-6-1 RCCM資格制度委員会

1. 主な活動の記録

(1) RCCM 資格制度委員会の開催

委員会開催回数： 10 回

(2) 国交省民間技術者資格登録制度への対応

① RCCM について、平成 30 年度は 2 施設分野 4 資格 (RCCM 5 技術部門、延べ 11 技術部門) を登録申請した。

具体的には、(1)道路土構造物 (土工)、(2)道路土構造物 (シェッド・大型カルバート等)。

これら、申請したすべてが新たに登録された。

② 今後は、令和元年度が平成 26 年度新規登録した 10 部門の更新年度となるため、これへの準備対応を実施する。また、試験内容などの確認を継続して実施する。

(3) RCCM 資格の未来像 WG

建設コンサルタント業務に関する新たな資格制度の創設について検討を行い、その概要及び資格制度規程 (案) を作成した。

(4) 試験・講習会 WG

更新講習会の WEB 化移行の判断を受け、移行理由、更新講習の料金、講習構成・内容、講師、規程などについて検討した。次年度は、WEB 化移行に向けた調整や実現に向けての課題を継続検討する。更に、資格試験についても WEB 化の可能性を検討したが、時期尚早の結論を得た。

(5) 技術者資格制度 WG

① 平成 30 年度 民間技術者資格登録への対応

(2) ①②に記載。

(6) 更新登録講習会の有効期限、更新登録要件 CPD 単位数の変更周知

① 平成 29 年度から更新登録講習会の受講の有効期限を 4 年とした。更新講習などで周知を実施。

② 登録に必要な CPD 単位を、令和 2 年 4 月から取得推奨単位である「200 単位/4 年 (現行 100 単位)」とすることを予定。平成 26 年度から更新講習などで引き続き当該周知を継続実施した。

2. 次年度の活動について

① RCCM 資格制度に関する下記の課題について、検討に必要な基礎データの収集、関連する委員会等との調整、協議等、実施に向けた検討作業を進める。

- ・ 建設コンサルタントの新たな資格制度について
- ・ 更新講習会の WEB 講習会への移行の環境整備など、実現に向けての準備
- ・ RCCM 資格試験内容の変更、充実について
- ・ 新設 (計画・調査・設計業務) および維持・管理に係る国土交通省技術者資格登録制度への対応
- ・ 更新登録に必要とする CPD 単位の変更についての周知

② RCCM 資格制度にかかる規定の改定など、その他の課題についてその改善・対応策を検討する。

③ 受験や登録に関して疑義の生じた場合に事案の審査を行う。

(RCCM 資格制度委員会委員長 熊谷 清)